

第 34 回 幹 事 会

平成19年3月22日

日 本 学 術 会 議

配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第33回幹事会議事要旨

資料 5 諸報告事項

資料 6 審議事項

資料 8 対外報告「地球温暖化とエネルギー－持続可能な社会に向けた衡平負担－」

資料 9 対外報告「提言：知の統合－社会のための科学に向けて－」

参考 1 日本学術会議第 150 回総会日程概要（案）

参考 2 日本学術会議における今後の予定

第 3 4 回幹事会議事次第

日 時 平成 1 9 年 3 月 2 2 日 (木) 1 4 : 0 0 ~

議 題

I 非公開審議事項

1 委員会関係

- ・ 国際委員会における分科会及び小分科会の設置及び委員の決定 (提案 1)
- ・ 分野別委員会における分科会、小委員会の設置及び委員会の委員の決定 (提案 2)
- ・ 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会及び同委員会分科会の委員の任期及び設置期間の延長 (提案 3)
- ・ 教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会の委員の任期及び設置期間の延長 (提案 4)
- ・ 学術・芸術資料保全体制検討委員会の委員の任期及び設置期間の延長 (提案 6)

2 外部委員候補者の推薦

- ・ 外部委員候補者の推薦 (提案 5)

II 前回幹事会以降の諸報告

III 審議事項

1 対外報告

- ・ 対外報告「地球温暖化とエネルギー持続可能な社会に向けた衡平な負担ー」(提案 7)
- ・ 対外報告「提言：知の統合ー社会のための科学に向けてー」(提案 8)

2 規則等の改正

- ・ 日本学術会議細則の一部を改正する決定案 (提案 9)
- ・ 日本学術会議の運営に関する内規の一部を改正する決定案 (提案 10)
- ・ 国際委員会運営要綱の一部を改正する決定案 (提案 11)

3 国際会議関係

- ・ 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2007 の開催 (提案 12)
- ・ 平成 21 年度開催国際会議の共同主催候補 (提案 13)

4 代表派遣関係

- ・ 平成 19 年度代表派遣に係る旅費の配分計画 (提案 14)
- ・ 平成 19 年度代表派遣実施計画 (提案 15)
- ・ 平成 19 年度代表派遣 (平成 19 年 4 月～6 月分) (提案 16)

5 委員会等主催シンポジウムの開催

- ・ 地球規模の自然災害に対する安全・安心な社会基盤の構築シンポジウムの開催 (提案 17)
- ・ 原子力総合シンポジウム 2007 の開催 (提案 18)
- ・ 第 26 回混相流シンポジウムの開催 (提案 19)
- ・ 第 7 回水資源に関するシンポジウムの開催 (提案 20)

6 後援

- ・ 国内会議 (提案 21)
- ・ 国際会議 (提案 22)

IV その他

第 3 4 回 幹事会（3 月 2 2 日）出席者一覧

会 長	金 澤 一 郎
副会長	浅 島 誠
副会長	鈴 村 興太郎
副会長	土 居 範 久

第一部	部長	広 渡 清 吾
	副部長	佐 藤 学
	幹事	江 原 由美子
	幹事	小 林 良 彰

第二部	部長	唐 木 英 明
	副部長	北 島 政 樹
	幹事	山 本 雅

第三部	部長	海 部 宣 男
	副部長	小 林 敏 雄
	幹事	河 野 長
	幹事	大 垣 眞一郎

事務局	谷 口 局 長
-----	---------

諸 報 告 事 項

第 1	前回幹事会以降の経過報告	P. 1
1	会長代理の指名	P. 1
2	審議付託等	P. 1
3	会長等出席行事	P. 2
4	日本学術会議主催公開講演会の開催	P. 2
5	委員会委員の辞任	P. 2
第 2	各部・各委員会等報告	P. 3
1	幹事会附置委員会の開催とその議題	P. 3
2	機能別委員会の開催とその議題	P. 3
3	分野別委員会の開催とその議題	P. 4
4	課題別委員会の開催とその議題	P. 10
5	政府統計の作成・公開方策に関する委員会報告インパクト・レポート	P. 12
第 3	総合科学技術会議報告	P. 17

第1 前回幹事会以降の経過報告

1 会長代理の指名

会長が海外出張につき、日本学術会議法第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり副会長を会長代理に指名した。

期 間	用 務 先	会 長 代 理
3月14日～ 3月18日	ハレ	浅島副会長

2 審議付託等

件 名	申 請 者	審議・付託先
第一東京弁護士会資格審査会委員と予備委員及び懲戒委員会委員と予備委員の推薦について	第一東京弁護士会会長	第一部
京都大学数理解析研究所運営委員会及び専門委員会各委員候補者の推薦について	京都大学数理解析研究所長	数理科学委員会 物理学委員会 情報学委員会 総合工学委員会
医療事故責任問題検討委員会委員の推薦について	日本医師会会長	第二部
国際「太陽地球系の気候と天気」シンポジウム—International CAWSES Symposium—の後援について	京都大学生存圏研究所教授	第三部
第15回日本運動生理学会大会の後援について	第15回日本運動生理学会大会大会長	第二部
学術刊行物の審査について	日本郵政公社関東支社長 日本郵政公社東京支社長 日本郵政公社近畿支社長 日本郵政公社九州支社長 日本郵政公社北海道支社長	科学者委員会
日本学術会議協力学術研究団体の指定について	東欧史研究会 情報社会学会 日本ロジステックシステム学会 日本動物行動学会 北日本病虫害研究会 日本ビジネス実務学会 特定非営利活動法人日本医療マネジメント学会 関東都市学会 日本ナサニエル・ホーソーン協会	科学者委員会

	日本安全教育学会 国際染色体植物学会 日本ジェンダー学会 北海道都市地域学会 日本大学口腔科学会 共生社会システム学会 日本国際保健医療学会 日本アダプテッド体育・スポーツ学会 医療経済学会 日本大ダム会議 臨床微生物迅速診断研究会 藝術学関連学会連合 富士学会 日本ペストロジー学会 東北地区歯科医学会 日本地衣学会	
--	--	--

3 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
3月8日	[表敬訪問・意見交換] ICSU Young Scientists Conference 2007 参加下 記連携会員4名 西山暁義（共立女子大学国際文化学部講師） 谷垣健二（滋賀県立成人病センター研究所主任 研究員） 鴨川 仁（東京学芸大学教育学部物理学科助手） 財城真寿美（日本学術振興会特別研究員）	金澤会長 土居副会長 谷口事務局長 須江事務局次長
3月13日	第53回（平成18年度）大河内賞贈賞式	会長代行（小林第三 部副部長）
3月15～ 16日	G8学術会議	金澤会長 土居副会長 谷口事務局長

4 日本学術会議主催公開講演会の開催

日本学術会議主催公開講演会「知識社会における教師の科学的教養と教員養成」を3月12日（月）に本講堂にて開催した。

5 委員会委員の辞任

日本学術会議会則第28条第2項の規定により、下記委員会等に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

第2. 各部・各委員会報告

1 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 憲章起草委員会 (第2回) (2月27日)

- ①今後の運営 ②その他

2 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学者委員会 学術体制分科会 (第5回) (3月8日)

- ①不正対策に対する提言について ②学術研究・開発研究費とその在り方について
③税制問題について ④その他

(2) 科学者委員会 広報分科会 (第16回) (3月6日)

- ①前回 (1/31) の議事要旨
② 今後の編集方針
・表紙デザイン (人物掲載) (案)
・原稿依頼・校了等進捗状況
・7月号以降の特集
・各コーナー執筆者の推薦
③ 科学者委員会・広報分科会の今後のあり方について
④ その他 (今後の会議日程の確認等)

(3) 科学者委員会 学協会の機能強化方策検討等分科会 (第4回) (2月28日)

- ① アンケート調査中間報告 ② ヒアリング調査中間報告

(4) 科学者委員会 学協会の機能強化方策検討等分科会 (第5回) (3月16日)

- ① シンポジウムについて ②その他

(5) 国際委員会 (第14回) (3月5日)

- ①持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議分科会 (報告) ②アジア
学術会議分科会・小分科会 (報告) ③ I A C 理事会 (報告) ④ 平成19年度代表
派遣 ⑤G8学術会議 ⑥その他

(6) 国際委員会 G8学術会議分科会 (第1回) (3月7日)

- ①委員長の選任 ②G8学術会議 (3/15-16 ドイツ) について

(7) 国際委員会 アジア学術会議準備会合 (国際委員会アジア学術会議分科会 (第8回) 及び第7回 SCA 会合担当小分科会 (第3回) 並びに SCA 共同プロジェクト

小分科会（第2回）合同会議（3月20日）

- ① SCA 共同プロジェクトについて ② 「第7回アジア学術会議」について ③ その他

（8）国際委員会 アジア学術会議分科会第7回 SCA 会合担当小分科会

（第4回）（3月20日）

- ① 「第7回アジア学術会議」について
1) 共同プロジェクトについて
2) 合同シンポジウムについて
② その他

（9）国際委員会 AASSREC 等分科会（第8回）（2月19日）

- ①第17回AASSREC総会(2007年9月27日～9月30日、名古屋)の開催について ② IFSSOの今後の対応について ③ その他

3 分野別委員会の開催とその議題

第一部関係

（1）法学委員会 「医療事故紛争処理システム」分科会（第1回）（2月23日）

- ①役員の選出 ②今後の活動方針について ③論点の整理 ④その他

（2）法学委員会 「法における公と私」分科会（第2回）（2月23日）

- ①分科会の審議計画の検討 ②その他

（3）法学委員会 ファミリー・バイオレンス分科会（第2回）（2月23日）

- ①報告：岩井宜子ファミリー・バイオレンスの実態と法的対策の動向
②今後の活動予定 ③その他

（4）経済学委員会 政府統計・社会統計情報基盤整備分科会

（第1回）（2月28日）

- ①委員長、副委員長の互選 ②オブザーバーの交代・追加 ③統計法改正の進捗状況と見通し ④分科会の今後の活動予定 ⑤その他

（5）心理学・教育学委員会 心理学教育プログラム検討分科会

（第3回）（2月28日）

- ①学士課程における標準的心理学教育カリキュラム案の検討
②心理技術者の国資格養成教育について ③その他

（6）地域研究委員会（第7回）（3月2日）

- ①関連学協会アンケート結果と今後の連携のあり方
②地域教育の提言のとりまとめ ③その他

(7) 地域研究委員会 地域基盤整備分科会 (第3回) (3月2日)

- ①学協会との連携について ②提言とりまとめ ③その他

(8) 地域研究委員会 人文・経済地理と地域教育 (地理教育も含む) 分科会
(第5回) (3月2日)

- ①今後の分科会の進め方 ②その他

(9) 地域研究委員会・環境学委員会 IHDP分科会 (第5回) (3月5日)

- ①12月9日のワークショップの概要について ②イノベーション推進検討委員会への提案について ③AASSREC名古屋のCDの要旨について ④5月22日のIHDPワークショップの概要について ⑤IHDP等のワークショップの成果の出版について ⑥日本環境共生学会におけるIHDPワークショップについて ⑦IHDP分担金について ⑧IHDPの動静と分科会の対応について ⑨来年度の活動計画について ⑩次回分科会日程について ⑪その他

(10) 法学委員会 「グローバル化と法」分科会 (第3回) (3月5日)

- ①「グローバル化と法」に関する意見交換 ②その他

(11) 史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会 (第3回) (3月5日)

- ①君島、野村委員による報告 (篠原委員の報告は文書で) ②今後の活動方針に関連してシンポジウムを日本歴史学協会と共同開催する可能性について ③アジア研究・対アジア関係に関する分科会との協力関係についてー合同分科会開催の可能性について ④その他

(12) 法学委員会 IALS分科会 (第3回) (3月6日)

- ①IALSとの関係について ②法学系学協会に対するアンケート実施について ③今後の国際交流分科会 (IALS分科会) の活動について ④その他

(13) 史学委員会 歴史学とジェンダーに関する分科会 (第1回) (3月8日)

- ①役員の選出について ②分科会の今後の活動について ③その他

(14) 社会学委員会 ジェンダー学分科会 (第3回) (3月10日)

- ①「ジェンダー学分科会主催の第一回シンポジウム (ないしは講演会) について ②その他

(15) 地域研究委員会 地域情報分科会 (第5回) (3月13日)

- ①課題について ②その他

(16) 言語・文学委員会 古典文化と言語分科会 (第3回) (3月13日)

- ①話題提供: 長島弘明氏「高校における古典教育の問題点」 ②その他

(17) 言語・文学委員会 科学技術と日本語分科会 (第2回) (3月13日)

- ①「科学技術と日本語」分科会の今後の活動方針について ②その他

(18) 法学委員会 立法学分科会 (第2回) (3月14日)

- ①委員長による基調報告 ②分科会による研究の方向性の確認 ③研究内容の具体化、取り上げるべき論点の列挙、研究の分担の確定 ④次回以降の予定

(19) 法学委員会 「不平等・格差社会セーフティ・ネット」分科会

(第3回) (3月15日)

- ①不平等・格差社会とセーフティ・ネットについて、各分野からの情報提供
- ②分科会の運営について ③その他

(20) 言語・文学委員会 (第8回) (3月16日)

- ①他分野からの委員の追加について ②シンポジウムの企画について ③その他

(21) 言語・文学委員会 文化の邂逅と言語分科会 (第2回) (3月16日)

- ①分科会の運営方針 ②今後のスケジュール ③次回分科会の議題と日程
- ④その他

(22) 社会学委員会 社会福祉分科会 (第3回) (3月17日)

- ①今後の審議内容について ②社会福祉系学会連絡協議会について ③シンポジウムについて ④その他

(23) 哲学委員会 国際学術交流分科会 (第1回) (3月19日)

- ①分科会役員 (委員長・副委員長) の選出 ②今後の活動方針について (シンポジウムの開催等) ③その他

(24) 哲学委員会 人文知と臨床哲学分科会 (第1回) (3月19日)

- ①分科会役員 (委員長・副委員長) の選出 ②今後の活動方針について (シンポジウムの開催等) ③その他

(25) 哲学委員会 芸術と文化環境分科会 (第1回) (3月19日)

- ①分科会役員 (委員長・副委員長) の選出 ②今後の活動方針について (シンポジウムの開催等) ③その他

(26) 哲学委員会 古典精神と未来社会分科会 (第1回) (3月19日)

- ①分科会役員 (委員長・副委員長) の選出 ②今後の活動方針について (シンポジウムの開催等) ③その他

(27) 哲学委員会 いのちと心を考える分科会 (第1回) (3月19日)

- ①分科会役員 (委員長・副委員長) の選出 ②今後の活動方針について (シンポジウムの開催等) ③その他

(28) 哲学委員会 文化・価値の多元性分科会 (第1回) (3月19日)

- ①分科会役員 (委員長・副委員長) の選出 ②今後の活動方針について (シンポジウムの開催等) ③その他

(29) 哲学委員会 哲学・倫理・宗教教育分科会 (第1回) (3月19日)

①分科会役員 (委員長・副委員長) の選出 ②今後の活動方針について (シンポジウムの開催等) ③その他

(30) 社会学委員会 少子高齢社会分科会 (第3回) (3月22日)

①第1回シンポジウムについて ②第2回シンポジウムについて ③2007年度の活動について ④その他

第二部関係

(1) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・心理学・教育学委員会合同
行動生物学分科会 (第2回) (2月22日)

①行動生物学関連学会の連携について ②シンポジウムについて ③その他

(2) 健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会 (第4回) (2月23日)

①今後の活動について ②その他

(3) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 発生生物学分科会
(第1回) (2月27日)

①委員長、副委員長、幹事の選出について ②今後の運営方針について ③その他

(4) 生産農学委員会 人と動物の関係分科会 (第4回) (2月27日)

①野生動物と人間との軋轢の状況について ②コンパニオンアニマルの状況について ③シンポジウムの計画について ④その他

(5) 臨床医学委員会 出生・発達分科会 (第2回) (2月28日)

①提言について ②その他

(6) 臨床医学委員会 免疫・感染症分科会 (第2回) (3月5日)

①今後の活動方針について ②その他

(7) 基礎医学委員会 生体医工学分科会 (第3回) (3月5日)

①生体医工学フォーラムについて ②その他

(8) 基礎医学委員会 形態・細胞生物医科学分科会 (第3回) (3月5日)

①今後の活動について ②シンポジウムについて ③その他

(9) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 細胞生物学分科会
(第3回) (3月5日)

①関連学会からの要求面の集約について ②細胞生物学の新たな戦略について
③形態・細胞生物医科学分科会との合同シンポジウムの件について ④その他

(10) 臨床医学委員会 障害者との共生分科会 (第3回) (3月5日)

①各小委員会からの報告 ②今後の作業日程について ③その他

- (11) **健康・生活科学委員会 看護学分科会** (第4回) (3月6日)
 ①看護学の構造と範囲 ②看護学教育：基礎と卒後 ③現在の医療問題に対する看護学からの緊急課題 ④連合体としての日本看護系学会協議会との連携
- (12) **基礎医学委員会 分子医科学分科会** (第2回) (3月7日)
 ①幹事の選出について ②今後の活動方針について ③その他
- (13) **臨床医学委員会 血液・造血分科会** (第2回) (3月12日)
 ①今後の活動方針について ②次回の日程について ③その他
- (14) **生産農学委員会 水産学分科会** (第1回) (3月13日)
 ①委員長、副委員長、幹事の選出について ②分科会の活動方針・目標について ③分科会の運営方法について ④その他
- (15) **健康・生活科学委員会 生活科学分科会** (第5回) (3月14日)
 ①シンポジウム「生活科学その独自性と課題」について ②その他
- (16) **農学基礎委員会 農業と環境分科会** (第6回) (3月19日)
 ①対外報告書の最終確認について ②その他
- (17) **基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学基礎委員会合同植物科学分科会**
 (第3回) (3月19日)
 ①分科会の追加幹事について ②各担当委員からの報告について ③推進すべき課題について ④その他
- (18) **農学基礎委員会・生産農学委員会合同 C I G R分科会** (第6回) (3月20日)
 ①加入国際学術団体の見直しに係る調査について ②国際会議の計画について ③C I G R事務局について ④その他
- (19) **生産農学委員会 応用昆虫学分科会** (第3回) (3月20日)
 ①応用昆虫学の今後の在り方について ②学の連合について ③その他
- (20) **基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 生物物理学分科会**
 (第1回) (3月22日)
 ①委員長、副委員長、幹事の選出について ②今後の分科会の活動方針、経過報告について ③国際純粋・応用生物物理学連合 (I U P A B) 理事報告について ④東アジア生物学連合 (A B A) 報告について ⑤その他

第三部関係

- (1) **情報学委員会 情報関係教育問題分科会** (第2回) (2月26日)
 ①3月の情報学シンポジウムでの話題について ②その他

- (2) 物理学委員会・地球惑星科学委員会・化学委員会・総合工学委員会・
基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 基礎科学の大型計画のあり方と
推進方策検討分科会 (第5回) (2月28日)
①「当面の要望」について ②中長期的課題の整理について ③その他
- (3) 環境学委員会 自然環境保全再生分科会 (第4回) (2月28日)
①自然環境保全再生分科会での今後の審議について ②「農地・水・環境保全向上
対策と淡水生態系ネットワークの保全・再生」講演と意見交換 ③その他
- (4) 数理学委員会 数学教育分科会 (第2回) (3月4日)
①委員の追加について ②今期の活動方針の検討 ③その他
- (5) 総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 WFE O分科会
(第4回) (3月5日)
①WFE Oの規約・分担金等について ②WFE O副委員長への立候補準備状況に
ついて ③各委員からの活動報告 ④倫理に関する活動の状況 ⑤その他
- (6) 総合工学委員会 未来社会と応用物理分科会 (第1回) (3月6日)
①総合工学委員会の活動と分科会設置の経緯 ②意思の表出について ③委員長等
の選出 ④今後の活動について ⑤その他
- (7) 地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会 (第6回) (3月6日)
①分科会の主要な課題に関する話題提供 ②話題提供をもとに分科会の主要課題を
議論 ③その他
- (8) 情報学委員会 ウェブ・メディア社会基盤分科会 (第1回) (3月6日)
①委員長等の選出について ②今後の活動方針について ③その他
- (9) 機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM分科会
(第5回) (3月7日)
①第56回理論応用力学講演会開催経緯 ②次期講演会の開催について ③IUT
AM分科会の活動に関する調査について ④その他
- (10) 電気電子工学委員会 URSI分科会 (第4回) (3月8日)
①各分野の活動報告について ②ホームページの管理について ③URSI 学術賞
の推薦について ④その他
- (11) 総合工学委員会 工学基盤における知の統合分科会 (第1回) (3月9日)
①総合工学委員会の活動と分科会設置の経緯 ②意思の表出について ③委員長等
の選出 ④今後の活動について ⑤その他
- (12) 総合工学委員会 ICO分科会 (第4回) (3月9日)
①経過報告 ②来年度分科会委員について ③分科会の今後の活動方針について

④その他

(13) 土木工学・建築学委員会 建設と社会分科会 (第5回) (3月12日)

①状況報告 ②その他

(14) 総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会 (第1回) (3月16日)

①総合工学委員会の活動と分科会設置の経緯 ②意思の表出について ③委員長等の選出 ④今後の活動について ⑤その他

(15) 情報学委員会 (第6回) (3月16日)

①シンポジウムについて ②その他

(16) 情報学委員会 情報学推進分科会 (第3回) (3月16日)

①シンポジウムについて ②その他

(17) 地球惑星科学委員会 地球惑星科学推進分科会役員会 (第1回) (3月19日)

①第2回地球惑星科学推進分科会の開催について ②地球惑星科学推進分科会の活動方針 ③その他

(18) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 科学技術イノベーション力強化分科会

(第4回) (3月19日)

①イノベーション推進検討委員会からの報告 ②今後の活動について ③その他

(19) 基礎生物学委員会・物理学委員会・化学委員会・総合工学委員会・

材料工学委員会合同 科学・技術の発展のための知覚情報取得技術の強化に関する検討分科会 (第3回) (3月22日)

①委員長・委員報告 (関連分科会等報告) ②科学・技術の発展のための知覚情報取得技術の強化について

【委員講演】

1) 天体観測機器での国際競争と国際協調 (観山委員)

2) 「X線自由電子レーザーとその利用」 (壽榮松委員)

③分科会主催シンポジウムについて (公開講演会への応募について) ④知覚情報機器に関するアンケートについて ⑤分科会対外報告について ⑥その他

4 課題別委員会の開催とその議題

(1) 生殖補助医療の在り方検討委員会 (第2回) (2月22日)

①医療面から見た生殖補助医療についての現状と課題 ②その他

(2) 科学者コミュニティと知の統合委員会 (第7回) (2月26日)

①報告書 (案) について ②その他

(3) 研究評価の在り方検討委員会 (第4回) (3月6日)

①各省における研究評価の現状について ②報告書（案）について ③その他

（４）地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会拡大役員会
(第8回) (3月8日)

①報告書（案）及び答申（案）について ②その他

（５）教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会（第7回）（3月12日）

①要望（案）について ②公開講演会について ③その他

第3 総合科学技術会議報告

1 本会議

*第64回

3月1日

- (1) ライフサイエンス分野におけるリサーチツール特許の使用の円滑化に関する指針について
- (2) 平成19年度科学技術関係予算案及びその重点化の状況について
- (3) 「イノベーション25」中間とりまとめについて
- (4) 最近の科学技術の動向

2 専門調査会

*第62回 評価専門調査会

2月26日

- (1) 評価専門調査会（第61回）議事概要について
- (2) 評価システム改革の推進について

*第33回 知的財産戦略専門調査会

2月27日

- (1) 知的財産戦略について

*第42回 生命倫理専門調査会

3月8日

- (1) ヒトES細胞の樹立及び使用に関する指針改正案について
- (2) ヒトES細胞樹立計画及び使用計画の確認について

3 総合科学技術会議有識者議員会合

- ・ 3月1日 *会長出席
- ・ 3月8日 *会長出席
- ・ 3月15日

審 議 事 項

(対外報告)

- 提案 7 対外報告「地球温暖化とエネルギー―持続可能な社会に向けた衡平な負担―」 P. 1
提案 8 対外報告「提言：知の統合―社会のための科学に向けて―」 P. 2

(規則等の改正)

- 提案 9 日本学術会議細則の一部を改正する決定案 (総会) P. 3
提案 10 日本学術会議の運営に関する内規の一部を改正する決定案 P. 5
提案 11 国際委員会運営要綱の一部を改正する決定案 P. 8

(国際会議関係)

- 提案 12 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2007 の開催 P. 15
提案 13 平成 21 年度開催国際会議の共同主催候補 P. 17

(代表派遣関係)

- 提案 14 平成 19 年度代表派遣に係る旅費の配分計画 P. 18
提案 15 平成 19 年度代表派遣実施計画 P. 20
提案 16 平成 19 年度代表派遣 (平成 19 年 4 月～6 月分) P. 24

(委員会等主催シンポジウム)

- 提案 17 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築シンポジウムの開催 P. 26
提案 18 原子力総合シンポジウムの開催 P. 27
提案 19 第 26 回混相流シンポジウムの開催 P. 30
提案 20 第 7 回水資源に関するシンポジウムの開催 P. 32

(後援)

- 提案 21 国内会議の後援 P. 33
提案 22 国際会議の後援 P. 34

7	
幹事会	3 4

提 案

対 外 報 告

「地球温暖化とエネルギー－持続可能な社会に向けた衡平な負担－」

- 1 提案者 エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 本委員会のこれまでの審議結果を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第三号の
「対外報告」として取り扱うこと

8	
幹事会	3 4

提 案

対 外 報 告

「提言：知の統合 - 社会のための科学に向けて-」

- 1 提案者 科学者コミュニティと知の統合委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 本委員会のこれまでの審議結果を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第三号の
「対外報告」として取り扱うこと

9	
幹事会	3 4

提 案 （総会）

日本学術会議細則の一部を改正する決定案

1. 提 案 者 浅島副会長（組織運営担当）
2. 議 案 標記について、別紙案のとおり総会に提案すること。
3. 提案理由 企画委員会を廃止するため

※ 日本学術会議細則

第10条 機能別委員会は、別表第2のとおり設置することとし、運営に関する事項は、幹事会が定める。

日本学術会議細則（平成１７年１０月４日日本学術会議第１４６回総会決定）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後			改 正 前		
別表第２（第１０条関係）			別表第２（第１０条関係）		
委員会名	委員長	職務	委員会名	委員長	職務
<u>（削除）</u>	<u>（削除）</u>	<u>（削除）</u>	企画委員会	会長	学術会議の制度及び活動の 長期的展望に関する企画

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

1 0	
幹事会	3 4

提 案

日本学術会議の運営に関する内規の一部を改正する決定案

- 1 提 案 者
- 浅島副会長（組織運営担当）
- 2 議 案
- 標記について、別紙案のとおり決定すること。
- 3 提案理由
- 1 人の会員又は連携会員が推薦できる人数、推薦の有効期間等を改正する等の必要があるため。

日本学術会議の運営に関する内規（平成１７年日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。
次の表により、改正前欄に掲げる規定をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後	改 正 前
（会員又は連携会員の候補者の推薦等） 第６条 （略） ２ 前項の推薦の期間は、推薦を受け付ける期間として選考委員会が公表する期間とする。 ３ 第１項の推薦の効力は、前項の推薦を受け付ける期間の終了日の翌日から３年間とする。 ４ １人の会員又は連携会員が推薦できる人数は、第２項の推薦を受け付ける期間中、会員候補者又は連携会員候補者それぞれについて、２人を限度とする。 ５ （略） 附 則 （経過措置） 第２条 第６条第４項の規定にかかわらず、平成１７年１２月１６日までの間において会員が行う連携会員の候補者の推薦に限り、５人までの連携会員の候補者を推薦することができるものとする。 ２ 前項の規定により推薦を行う場合の推薦手続については、第６条第１項の規定を準用する。	（会員又は連携会員の候補者の推薦等） 第６条 （略） ２ 前項の推薦の効力は、<u>６年間</u>とする。 ３ １人の会員又は連携会員が推薦できる人数は、<u>１年間（この場合の１年間とは、１０月１日を始期とし翌年の９月３０日を終期とする１年間をいうものとする。）に２人を限度とする。</u> ４ （略） 附 則 （経過措置） 第２条 第６条第<u>３</u>項の規定にかかわらず、平成１７年１２月１６日までの間において会員が行う連携会員の候補者の推薦に限り、５人までの連携会員の候補者を推薦することができるものとする。 ２ 前項の規定により推薦を行う場合の推薦手続<u>及び推薦の効力</u>については、第６条第１項<u>及び第２項</u>の規定を<u>それぞれ</u>準用する。

3 第1項の規定により推薦を行う場合の推薦の効力については、平成23年3月31日までとする。

第3条 第6条第4項の規定にかかわらず、平成18年3月23日から平成18年5月10日までの間において会員又は連携会員が行う連携会員の候補者の推薦に限り、5人までの連携会員の候補者を推薦することができるものとする。

2 前項の規定により推薦を行う場合の推薦手続については、第6条第1項の規定を準用する。

3 第1項の規定により推薦を行う場合の推薦の効力については、平成23年3月31日までとする。

第3条 第6条第3項の規定にかかわらず、平成18年3月23日から平成18年5月10日までの間において会員又は連携会員が行う連携会員の候補者の推薦に限り、5人までの連携会員の候補者を推薦することができるものとする。

2 前項の規定により推薦を行う場合の推薦手続及び推薦の効力については、第6条第1項及び第2項の規定をそれぞれ準用する。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

1 1	
幹事会	3 4

提 案

国際委員会運営要綱の一部を改正する決定案

- 1 提 案 者 国際委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。
- 3 提案理由 学術研究団体との共同主催国際会議に係る準備及び運営等のため、国際会議主催等検討分科会等の構成要件の充実を図り、平成20年度に開催される8の共同主催国際会議の小分科会を置くともに、平成18年度に開催された共同主催国際会議に係る小分科会を廃止するため、国際委員会運営要綱別表1及び別表2について、所要の改正を行う。

(様式)

国際委員会 国際会議主催等検討分科会小分科会の設置について

分科会等名：第 20 回色素細胞学会国際連合学術大会(IPCC)・第 5 回メラノーマ研究学会国際コンgres合同会議(IMRC)小分科会
：第 5 回国際研究皮膚科学会議小分科会
：2008 年国際炭素材料学会議小分科会
：第 21 回国際結晶学連合会議小分科会
：第 11 回世界内視鏡外科学会小分科会
：第 10 回国際樹状細胞シンポジウム小分科会
：第 5 回世界水産学会議小分科会
：第 13 回環太平洋精神科医会議小分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	国際委員会・国際会議主催等検討分科会				
2	委員の構成	国際会議主催等検討分科会委員 1 名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員				
3	設置目的	当該国際会議の開催に係る準備及び運営等を目的とし設置する。				
4	審議事項	当該国際会議開催に関する事項				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成 19 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成 19 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日	常設	
時限設置	平成 19 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日					
常設						
6	備考					

国際委員会運営要綱（平成１７年１０月４日日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後				改 正 前			
別表 1				別表 1			
分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考	分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考
国際会議主催等 検討分科会	日本で開催される国際会議の日本学術会議の主催についての審議及び開催に関すること並びに後援についての審議に関すること	副会長（日本学術会議会則第５条第３号担当）及び各部推薦の会員各２名並びに委員長が必要と認める会員又は連携会員若干名		国際会議主催等 検討分科会	日本で開催される国際会議の日本学術会議の主催及び後援についての審議及び選定に関すること	副会長（日本学術会議会則第５条第３号担当）及び各部推薦の会員各２名	
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	
AASSREC 等分科会	アジア社会科学 研究協議会連盟 （AASSREC）及び国際社会科学団体連盟 （IFSSO） への対応に関する こと	委員会の委員３ 名以内並びに委 員長が必要と認 める会員又は連 携会委員 <u>１５名</u> 以内		AASSREC 等分科会	アジア社会科学 研究協議会連盟 （AASSREC）及び国際社会科学団体連盟 （IFSSO） への対応に関する こと	委員会の委員３ 名以内並びに委 員長が必要と認 める会員又は連 携会委員 <u>１０名</u> 以内	
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	

別表 2

分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>

別表 2

分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考
第 2 0 回国際生 化学・分子生物 学会議小分科会	第 2 0 回国際生 化学・分子生物 学会議の開催に 係る準備及び運 営等	国際会議主催等 検討分科会委員 1 名並びに当該 国際会議の開催 に係る会員 又は連携会員	国際会議主催等 検討分科会に置 く。
第 2 0 回国際コ ンピュータ支援 放射線医学・外 科学会議小分科 会	第 2 0 回国際コ ンピュータ支援 放射線医学・外 科学会議の開催 に係る準備及び 運営等	国際会議主催等 検討分科会委員 1 名並びに当該 国際会議の開催 に係る会員 又は連携会員	国際会議主催等 検討分科会に置 く。
2 0 0 6 年世界 政治学会・福岡 大会小分科会	2 0 0 6 年世界 政治学会・福岡 大会の開催に係 る準備及び運営 等	国際会議主催等 検討分科会委員 1 名並びに当該 国際会議の開催 に係る会員 又は連携会員	国際会議主催等 検討分科会に置 く。
第 1 9 回国際鉅 物学会議小分科 会	第 1 9 回国際鉅 物学会議の開催 に係る準備及び 運営等	国際会議主催等 検討分科会委員 1 名並びに当該 国際会議の開催 に係る会員 又は連携会員	国際会議主催等 検討分科会に置 く。
第 2 5 回天然物	第 2 5 回天然物	国際会議主催等	国際会議主催等

				化学国際会議・第5回生物多様性国際会議小分科会	化学国際会議・第5回生物多様性国際会議の開催に係る準備及び運営等	検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	検討分科会に置く。
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	第17回磁性国際会議小分科会	第17回磁性国際会議の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	2006年国際サイコセラピー会議イン・ジャパンおよび第3回アジア国際サイコセラピー会議小分科会	2006年国際サイコセラピー会議イン・ジャパンおよび第3回アジア国際サイコセラピー会議の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	第16回国際顕微鏡学会議小分科会	第16回国際顕微鏡学会議の開催に係る準備及び運営等	国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該国際会議の開催に係る会員又は連携会員	国際会議主催等検討分科会に置く。
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>第20回色素細胞学会国際連合学術大会</u>	<u>第20回色素細胞学会国際連合学術大会</u>	<u>国際会議主催等検討分科会委員1名並びに当該</u>	<u>国際会議主催等検討分科会に置く。</u>				

<u>(IPCC)・第5回 メラノーマ研究 学会国際コング レス合同会議 (IMRC)小分科 会</u>	<u>(IPCC)・第5回 メラノーマ研究 学会国際コング レス合同会議 (IMRC)の開催 に係る準備及び 運営等</u>	<u>国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	
<u>第5回国際研究 皮膚科学会議小 分科会</u>	<u>第5回国際研究 皮膚科学会議の 開催に係る準備 及び運営等</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会委員 1名並びに当該 国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会に置 く。</u>
<u>2008 年国際炭 素材料学会議小 分科会</u>	<u>2008 年国際炭 素材料学会議の 開催に係る準備 及び運営等</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会委員 1名並びに当該 国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会に置 く。</u>
<u>第21回国際結 晶学連合会議小 分科会</u>	<u>第21回国際結 晶学連合会議の 開催に係る準備 及び運営等</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会委員 1名並びに当該 国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会に置 く。</u>
<u>第11回世界内 視鏡外科学会小 分科会</u>	<u>第11回世界内 視鏡外科学会の 開催に係る準備</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会委員 1名並びに当該</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会に置 く。</u>

	<u>及び運営等</u>	<u>国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	
<u>第 10 回国際樹 状細胞シンポジ ウム小分科会</u>	<u>第 10 回国際樹 状細胞シンポジ ウム小分科会の 開催に係る準備 及び運営等</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会委員 1 名並びに当該 国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会に置 く。</u>
<u>第 5 回世界水産 学会議小分科会</u>	<u>第 5 回世界水産 学会議の開催に 係る準備及び運 営等</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会委員 1 名並びに当該 国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会に置 く。</u>
<u>第 13 回環太平 洋精神科医会議 小分科会</u>	<u>第 13 回環太平 洋精神科医会議 の開催に係る準 備及び運営等</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会委員 1 名並びに当該 国際会議の開催 に関する会員 又は連携会員</u>	<u>国際会議主催等 検討分科会に置 く。</u>
(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

1 2	
幹事会	3 4

提 案

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2007 の開催

- 1 提 案 者 国際委員会委員長
- 2 議 案 標記会議を下記のとおり開催すること

記

- (1) 会議名 International Conference on Science and Technology for Sustainability 2007
- International Cooperation for Development (国際開発協力) (仮題) -
- (2) 日 程 平成19年9月7日(金)、8日(土)
- (3) 場 所 日本学術会議講堂(予定)
- (4) 主 催 日本学術会議
- (5) 開催主旨及び構成 (別紙参照)

日本は世界最大の援助供与国のひとつである。国際社会に対して援助を行うことは日本にとって大変意義のあることであり、この会議では、その意義や方法論、実際の取り組みの例などを取り上げて検討する。

2件の基調講演に加えて、以下にあげる3つの課題についてセッションを設け議論を行う。
(別紙参照) (セッション名はいずれも仮題) 外務省、国際協力機構(JICA)だけでなく国際連合、世界銀行などの国際的な援助関連機関にも共催団体として参加を呼びかける予定である。

プログラム (予定)

9月7日(金) - 第1日目 -

9:00-9:30	開会挨拶
9:30-10:30	基調講演 I Partha Dasgupta イギリス ケンブリッジ大学フランク・ラムゼイ記念経済学教授
10:30-11:00	休憩
11:00-12:00	基調講演 II 緒方 貞子 独立行政法人 国際協力機構(JICA)理事長 (依頼中)
12:00-13:30	ランチ
13:30-17:00	セッション 1 -Developmental Strategy and Human Security- 絵所 秀紀 法政大学経済学部教授 (依頼中) Sakiko Fukuda-Parr アメリカ ニュースクール大学大学院客員教授 David Hulme マンチェスター大学慢性貧困研究所所長 (依頼中) 峯 陽一 大阪大学人間科学研究科助教授 大塚 啓二郎 FASID((財)国際開発高等教育機構)政策研究大学院大学教授 (依頼中) 山形 辰史 アジア経済研究所 開発研究センター 開発戦略研究グループ長 (依頼中) (講演者依頼中)
18:00-20:00	レセプション

9月8日(土) - 第2日目 -

9:00-12:00	セッション 2 -Science and technology for international development- 目黒 公郎 東京大学 生産技術研究所教授 Antonio Navarra イタリア 国立地質火山研究所主任研究員 岡部 信彦 国立感染症研究所 感染症情報センター長 堀井 信浩 アジア経済研究所新領域研究センター研究員 井谷 徹 国際労働機関 (ILO) 労働保護福祉局長
12:00-13:30	ランチ
13:30-17:00	セッション 3 -Capacity building and governance- (講演者依頼中)
17:00-17:30	総括セッション 閉会挨拶

※斜体字の方は依頼中

1 3	
幹事会	3 4

提 案

平成 21 年度開催国際会議の共同主催候補

- 1 提 案 者 会長
- 2 議 案 平成 21 年度開催国際会議の共同主催候補は、下記の 7 件とする。
- 3 提案理由 標記について、共同主催の申請があった平成 21 年度開催国際会議に関する国際委員会国際会議主催等検討分科会の審議に基づき、提案するものである。

記

- ・ 2009 年 IEEE ロボティクス・オートメーション国際会議
- ・ 第 9 回国際炎症学会
- ・ 第 14 回国際生物無機化学会議
- ・ 国際生理学会第 36 回世界大会
- ・ 第 4 回世界トライボロジィ会議
- ・ 第 9 回超伝導国際会議
- ・ 第 14 回国際内分泌学会議

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」(抄)

(共同主催の決定)

第 3 4 条 会長は、前条の審議結果に基づき、幹事会の議決を経て共同主催の候補を決定する。

2 会長は、共同主催の候補となった国際会議に関する予算措置をもって共同主催を決定し、その旨を申請者に通知するものとする。

3 共同主催は、閣議の口頭了解を得ることとする。

1 4	
幹事会	3 4

提 案

平成19年度代表派遣に係る旅費の配分計画

- 1 提 案 者 会 長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり決定すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する
内規」第17条第4項に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（代表派遣旅費の配分計画）

- 第17条** 会長は、前条第2項の規定により会議推薦書及び会議調書の提出があったときは、次の各号に掲げる区分に基づき、代表派遣に係る旅費の配分方針及び配分額についての計画（以下「配分計画」という。）の策定を国際委員会に依頼するものとする。
- (1) 第1区分
 - ア 第15条第1号に掲げる会議のうち加入国際学術団体の総会
 - イ 国際学術団体の総会のうち、アに準ずるものとして幹事に諮り承認されたもの
 - (2) 第2区分
 - ア 第15条第1号に掲げる会議のうち加入国際学術団体の運営に関するもの
 - イ 第15条第2号及び第3号に掲げる会議等で我が国の代表の参加を要請される等学術会議として代表派遣する特別の必要性があるもの
 - (3) 第3区分

第15条に掲げる会議のうち前2号以外のもので国際委員会委員長が適当と認めるもの
- 2 国際委員会は、前項の依頼があったときは、会議開催年度の前年度の1月中旬に配分計画を策定し、会長に報告しなければならない。
 - 3 国際委員会は、配分計画の策定に当たっては、第1項第1号に区分される会議の旅費を優先的に確保しなければならない。
 - 4 会長は、配分計画について、会議開催年度の前年度の幹事会の議決を経て決定するものとする。
 - 5 会長は、第1項第1号イの国際学術団体の総会を変更しようとする場合は、国際委員会の意見を聴き、幹事会の議決を経るものとする。

平成 19 年度代表派遣に係る旅費の配分計画（案）

I 一般代表派遣

1 予 算

平成 19 年度の代表派遣に係る予算案は次のとおり。

39,965 千円（前年度：40,793 千円）

・・・平成 18 年 12 月 24 日政府案閣議決定→平成 19 年 1 月 25 日国会提出

2 配 分

- （１） **第 1 区分**（加入国際学術団体の総会）については、最優先で配分（日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規（以下「国際内規」）第 17 条第 3 項による）

・・・**9,674 千円**

- （２） **第 2 区分**（加入国際学術団体の運営に関するもの等）を、第 1 区分に次いで優先的に配分

・・・**12,941 千円**

- （３） **調整費**（総額の 25%＊）及び**事務官派遣**（総額の 5%＊）の合計額を控除

＊ 昨年度と同様の率を配分。

・・・**9,991 千円**（調 整 費）

・・・**1,998 千円**（事務官派遣）

〈計〉11,989 千円

- （４） （１）から（３）の残額は、執行状況を勘案して、追加募集をする等の方策を別途国際委員会で検討

〈残額〉**5,361 千円**

II 特別派遣

特別派遣旅費（予算額 6,022 千円）については、国際学術協力事業に関する代表派遣及び第 3 区分（第 3 区分については、日本学術会議として真に必要と認められる国際会議を国際委員会において選別する）として、配分し、残額については、執行状況を勘案して、会長が副会長（国際活動）と協議の上、幹事会で決定し、派遣する。（年度当初案・・・別表 3）

・・・**1,446 千円**（第 3 区分）

・・・**1,519 千円**（国際学術協力事業）（〃）

〈計〉2,965 千円

〈残額〉3,057 千円

1 5	
幹事会	3 4

提 案

平成 1 9 年度代表派遣実施計画

- 1 提 案 者 会 長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり決定すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する
内規」第 1 8 条第 3 項に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣実施計画の作成）

- 第 1 8 条** 国際委員会は、前条第 4 項の決定に基づき、次の各号に掲げる区分に基づき、配分されることとなった旅費の範囲内で、それぞれ様式第 5 に定める実施計画案を作成し、会議開催年度の前年度の 2 月中に会長に提出しなければならない。
- (1) 前条第 1 項第 1 号に係る代表を派遣すべき会議
 - (2) 前条第 1 項第 2 号に係る代表を派遣すべき会議等
 - (3) 前条第 1 項第 3 号に係る代表を派遣すべき会議
- 2 国際委員会は、前項の実施計画案の作成に当たっては、加入国際学術団体の総会を優先しなければならない。
- 3 会長は、前項の規定により提出のあった実施計画案に基づき、様式第 6 に定める代表派遣実施計画（以下「派遣実施計画」という。）を作成して、会議開催年度の前年度の 3 月中に開催される幹事会の承認を得るものとする。

平成19年度代表派遣実施計画(案)

< 第1区分 >

別表1

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	国際生物科学団体連盟(IUBS)第29回 総会	2007/5/9 ~ 2007/5/13 (5 日)	<u>ワシントン</u> (米国)	1
2	国際測地学地球物理学連合(IUGG) 第24回 国際測地学地球物理学連合 総会	2007/7/2 ~ 2007/7/13 (12 日)	<u>ペルージャ</u> (イタリア)	1
3	国際測地学地球物理学連合(IUGG) 第24回 国際測地学地球物理学連合 総会	2007/7/2 ~ 2007/7/13 (12 日)	<u>ペルージャ</u> (イタリア)	1
4	国際測地学地球物理学連合(IUGG) 第24回 国際測地学地球物理学連合 総会	2007/7/2 ~ 2007/7/13 (12 日)	<u>ペルージャ</u> (イタリア)	1
5	国際第四紀学連合(INQUA) 第17回 国際第四紀学連合大会	2007/7/28 ~ 2007/8/3 (7 日)	<u>ケアンズ</u> (オーストラリア)	1
6	国際第四紀学連合(INQUA) 第17回 国際第四紀学連合大会	2007/7/28 ~ 2007/8/3 (7 日)	<u>ケアンズ</u> (オーストラリア)	1
7	国際第四紀学連合(INQUA) 第17回 国際第四紀学連合大会	2007/7/28 ~ 2007/8/3 (7 日)	<u>ケアンズ</u> (オーストラリア)	1
8	国際地図学協会(ICA) 第13回 国際地図学協会総会及び第 23回国際地図学会議	2007/8/4 ~ 2007/8/10 (7 日)	<u>モスクワ</u> (ロシア)	1
9	国際地図学協会(ICA) 第13回 国際地図学協会総会及び第 23回国際地図学会議	2007/8/4 ~ 2007/8/10 (7 日)	<u>モスクワ</u> (ロシア)	1
10	国際科学史・科学基礎論連合 (IUHPS/DLMPS) 第13回 国際科学史・科学基礎論連合 (科学基礎論部会)会議	2007/8/9 ~ 2007/8/15 (7 日)	<u>北京</u> (中国)	1
11	国際オリエント・アジア研究連合 (IUOAS) 第38回 国際アジア・北アフリカ研究会 議	2007/9/10 ~ 2007/9/15 (6 日)	<u>アンカラ</u> (トルコ)	1
12	国際オリエント・アジア研究連合 (IUOAS) 第38回 国際アジア・北アフリカ研究会 議	2007/9/10 ~ 2007/9/15 (6 日)	<u>アンカラ</u> (トルコ)	1
13	国際歴史学委員会(CISH)国際歴史学 委員会総会	2007/9/17 ~ 2007/9/18 (2 日)	<u>北京</u> (中国)	1
14	国際社会科学団体連盟(IFFSO)総会	2007/10/19 ~ 2007/10/21 (3 日)	<u>バリ</u> (インドネシア)	1
15	国際社会科学団体連盟(IFFSO)総会	2007/10/19 ~ 2007/10/21 (3 日)	<u>バリ</u> (インドネシア)	1
16	世界工学団体連盟(WFEO) 世界工学団体連盟 2007総会	2007/11/12 ~ 2007/11/16 (5 日)	<u>ニューデリー</u> (インド)	1

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	国際農業工学会 (CIGR) 国際農業工学会2007年幹部会及び関 連会議	2007/7/1 ~ 2007/7/5 (5 日)	<u>グラスゴー</u> (英国)	1
2	国際農業工学会 (CIGR) 国際農業工学会2007年理事会及び関 連会議	2007/7/2 ~ 2007/7/5 (4 日)	<u>グラスゴー</u> (英国)	1
3	国際純正・応用物理学連合 (IUPAP)国際純粋・応用物理学連合 C19会議 第18回一般相対論と重力国 際会議	2007/7/8 ~ 2007/7/14 (7 日)	<u>シドニー</u> (オーストラリア)	1
4	太陽地球系物理学・科学委員会 (SCOSTEP) 理事会及び総会	2007/7/14 ~ 2007/7/16 (3 日)	<u>ペルージャ</u> (イタリア)	1
5	国際純正・応用物理学連合 (IUPAP)国際純粋・応用物理学連合 C16会議 第28回ICPIG国際会議	2007/7/15 ~ 2007/7/20 (6 日)	<u>プラハ</u> (チェコ)	1
6	国際自動制御連盟 (IFAC)理事会	2007/7/25 ~ 2007/7/31 (7 日)	<u>トゥールズ</u> (フランス)	1
7	国際結晶学連合(IUCr) 理事会及び予備会議	2007/7/27 ~ 2007/7/29 (3 日)	<u>ソルトレークシティ</u> (米国)	1
8	国際純正応用化学連合(IUPAC) 高分子部門(第 部門) 部門委員会	2007/8/4 ~ 2007/8/12 (9 日)	<u>トリノ</u> (イタリア)	1
9	国際純正応用化学連合(IUPAC) 述語、命名法および記号に関する部 会間委員会	2007/8/4 ~ 2007/8/8 (5 日)	<u>トリノ</u> (イタリア)	1
10	国際理論応用力学連合 (IUTAM) 理事 会	2007/8/17 ~ 2007/8/20 (4 日)	<u>北京</u> (中国)	1
11	海洋研究科学委員会 (SCOR) 2007海洋科学研究委員会(SCOR)第 38回執行理事会	2007/8/26 ~ 2007/8/28 (3 日)	<u>ベルゲン</u> (ノルウェー)	1
12	国際地理学連合 (IGU) 執行委員会	2007/9/25 ~ 2007/9/30 (6 日)	<u>サンディエ</u> (フランス)	1
13	国際地質科学連合(IUGS) 理事会	2008/1/1 ~ 未定 ((仮) 3 日)	<u>マラケシ</u> (モロッコ)	1
14	国際北極科学委員会(IASC)評議会	未定 ~ 未定 ((仮) 3 日)	<u>サレハルド</u> (ロシア)	1
15	国際問題に関するインターアカデミー パネル(IAP)執行委員会	2007/11予定 ~ 2007/11予定 (3 日)	<u>トリエステ(仮)</u> (イタリア(仮))	1
16	国際問題に関するインターアカデミー パネル(IAP)執行委員会	2007/11予定 ~ 2007/11予定 (3 日)	<u>トリエステ(仮)</u> (イタリア(仮))	1
17	国際問題に関するインターアカデミー パネル(IAP)執行委員会	2008/2予定 ~ 2008/2予定 (3 日)	<u>パリ(仮)</u> (フランス(仮))	1
18	国際問題に関するインターアカデミー パネル(IAP)執行委員会	2008/2予定 ~ 2008/2予定 (3 日)	<u>パリ(仮)</u> (フランス(仮))	1
19	インターアカデミーカウンスル(IAC)理 事会	2008/1予定 ~ 2008/1予定 (3 日)	<u>アムステルダム(仮)</u> (オランダ(仮))	1
20	インターアカデミーカウンスル(IAC)理 事会	2008/1予定 ~ 2008/1予定 (3 日)	<u>アムステルダム(仮)</u> (オランダ(仮))	1

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	国際憲法学会第7回世界大会	2007/6/10 ~ 2007/6/15 (6 日)	<u>アテネ</u> (<u>ギリシア</u>)	1
2	哲学諸学会国際連合年次運営委員会 並びに年次国際会議生命倫理学ロ シュニ・デー	2007/6/11 ~ 2007/6/14 (4 日)	<u>マリ・ロシュニ</u> (<u>クロアチア</u>)	1

2

< 特別派遣 >

番号	会 議 名	会 期	開催地	派遣人員
1	国際リソスフェア計画(ILP) “総合個体地球科学における新フロン ティア” およびILP国内代表委員会議	2007/6/12 ~ 2007/6/13 (2 日)	<u>ポツダム</u> (<u>ドイツ</u>)	1
2	地質科学国際研究計画(IGCP) 第36回地質科学国際研究計画(IGCP) 本部理事会	2008/2/14 ~ 2008/2/15 (2 日)	<u>パリ</u> (<u>フランス</u>)	1

2

1 6	
幹事会	3 4

提 案

平成19年度代表派遣（平成19年4月～6月分）

- 1 提案者 会 長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり実施すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第19条の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣者の選考）

- 第19条** 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。
- 2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の1か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	国際生物科学団体連盟 (IUBS) 第29回総会	5月9日 ～ 5月13日	5 日	ワシントン _____ 米国	西田 治文 連携会員 中央大学理工学部	IUBS分科会 第1区分
2	国際憲法学会第7回世界大会	6月10日 ～ 6月15日	6 日	アテネ _____ ギリシャ	辻村みよ子 会員 東北大学大学院法学研究科	法学委員会 特別派遣
3	哲学諸学会国際連合年次運営委員会並びに年次国際会議声明倫理学ロシュニ・デー	6月11日 ～ 6月14日	4 日	マリ・ロシュニ _____ クロアチア	前田専學 連携会員 財団法人東方研究会	哲学委員会 特別派遣
4	国際リソスフェア計画 (ILP) "総合個体地球科学における新フロンティア" および ILP 国内代表委員会議	6月12日 ～ 6月13日	2 日	ボツダム _____ ドイツ	未定 未定 未定	地球惑星科学委員会 国際対応分科会 特別派遣

1 7	
幹事会	3 4

提 案

「地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築シンポジウム」の開催

1. 提案者 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会
委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の
構築委員会
2. 日 時 平成19年5月9日（水） 13：00～17：00
3. 場 所 日本学術会議6－C会議室（6階）
4. プログラム（案）

開会挨拶

 - (1) 課題別委員会の活動と報告の概要
濱田 政則（地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤
の構築委員会委員長、早稲田大学理工学術院教授）
 - (2) 災害要因となる自然災害の解明と予測
入倉 孝次郎（京都大学名誉教授・愛知工業大学客員教授）
 - (3) 国土構造の変化がもたらす災害脆弱性
日下部 治（東京工業大学大学院理工学研究科教授）
 - (4) 災害に強い社会構造
林 良嗣（名古屋大学大学院環境学研究科長）
 - (5) 発展途上国の状況と海外支援のあり方
竹内 邦良（山梨大学大学院医学工学総合研究部教授）
 - (6) 社会基盤整備の適正水準の考え方
池田 駿介（東京工業大学大学院理工学研究科教授）
 - (7) 提言と日本学術会議が果たすべき役割
濱田 政則

閉会挨拶

幹事会	34

提 案

原子力総合シンポジウム 2007 の開催

1. 提案者 総合工学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議総合工学委員会
2. 共 催 日本原子力学会ほか 38 学協会
3. 日 時 平成 19 年 5 月 30 日(水)－31 日(木)
4. 場 所 日本学術会議講堂
5. 議事次第 別紙開催要領による

「原子力総合シンポジウム 2007」開催計画

■主 催 日本学術会議 総合工学委員会

■共 催 38 学協会（予定）

エネルギー・資源学会	(社)化学工学会	(社)火力原子力発電技術協会
(社)空気調和・衛生工学会	(社)計測自動制御学会	(財)原子力安全研究協会
(社)資源・素材学会	(社)電気化学会	(社)電気学会
(社)土木学会	(社)日本アイソトープ協会	(社)日本医学放射線学会
(社)日本化学会	日本核医学会	(社)日本機械学会
(社)日本空気清浄協会	(社)日本建築学会	(社)日本高圧力技術協会
日本混相流学会	日本シミュレーション学会	(社)日本セラミックス協会
日本地球化学会	日本地質学会	(社)溶接学会
(社)日本電気協会	(社)日本非破壊検査協会	日本複合材料学会
(社)日本分析化学会	日本放射化学会	日本放射線影響学会
(社)日本放射線技術学会	日本保健物理学会	(社)日本溶接協会
(社)日本流体力学会	(社)粉体粉末冶金協会	(社)プラズマ・核融合学会
(社)レーザー学会	(社)日本原子力学会	

■後 援（予定）

原子力委員会，原子力安全委員会，日本原子力研究開発機構，
日本原子力産業会議，日本原子力文化振興財団，
(財)電力中央研究所，(財)エネルギー総合工学研究所，(社)日本電機工業会

■開催日 2007 年 5 月 30 日（水），31 日（木）

■会 場 日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

■参加費 無 料

■プログラム案

主調テーマ 「エネルギーセキュリティと地球環境問題の一体的解決に向けて」

【5 月 30 日（水）】

10：00～12：00 -----（敬称略）

- | | |
|-------|----------------------|
| ○開会の辞 | 矢川元基（日本学術会議会員/運営委員長） |
| ○挨拶 | 金澤一郎（日本学術会議会長） |
| ○特別講演 | 近藤駿介（原子力委員会委員長） |
| ○基調講演 | （依頼中）黒田玲子（東京大学） |

13：00～15：00 -----

- エネルギー教育－持続可能な成長基盤の確立へ向けた産・官・学一体の取組みの始まり
（パネルセッション）

司会・モデレータ 飯井俊行（福井大学）

パネリスト（予定） 文部科学省，野田耕一（経済産業省），
長谷川 信（日本原子力研究開発機構），河原あきら（日立製作所），
辻倉米蔵（関西電力），上坂 充（東京大学），榎田洋一（名古屋大学），
小野綾子（北海道大学・院）

15：15～17：00 -----

○エネルギー政策基本法制定の経緯と我が国の長期資源エネルギー政策（パネルセッション）

モデレータ 山地憲治（日本学術会議会員/東京大学）

パネリスト（予定） 甘利 明（経済産業大臣），斉藤鉄夫，大畠章宏（衆議院議員），
柳瀬唯夫（経済産業省），小川順子（日本原子力発電）

【5月31日(木)】

10：00～12：00 -----

○特別講演 鈴木篤之（日本学術会議会員/原子力安全委員会委員長）

○招待講演 （依頼中）十市 勉（日本エネルギー経済研究所）

13：00～16：45 -----

○環境とエネルギーセキュリティ両立への課題

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| (1) 省エネルギー対策 | 省エネルギーセンター |
| (2) 化石燃料CO ₂ 対策(固定化) | 電力中央研究所 |
| (3) 再生可能エネルギーの果たす役割 | 小川紀一郎(エネルギー総合工学研究所) |
| (4) 電力自由化環境下の原子力発電所新・増設，ブレース | 日本原子力発電 |
| (5) 我が国原子力産業の国際展開支援 | 経済産業省 |
| (6) 核融合エネルギー開発の国際協力 | プラズマ・核融合学会 |
| (7) レーザー核融合研究の現状と展望 | レーザー学会 |
| (8) 高速増殖サイクルの早期実現 | 日本原子力研究開発機構 |

○閉会挨拶（16：45～17：00） 田中俊一（日本原子力学会会長）

以上

1 9	
幹事会	3 4

提 案

第 26 回混相流シンポジウムの開催

1. 提案者 土木工学・建築学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議土木工学・建築学委員会
2. 共 催 日本混相流学会
3. 協 賛 (予定) 化学工学会, 可視化情報学会, 火力原子力発電技術協会, 空気調和・衛生工学会, 計測自動制御学会, 資源・素材学会, スラリー輸送研究会, 石油学会, ターボ 機械協会, 土木学会, 農業土木学会, 日本ウォータージェット学会, 日本埋立浚渫協会, 日本エアロゾル学会, 日本機械学会, 日本空気清浄協会, 日本原子力学会, 日本航空宇宙学会, 日本材料学会, 日本浚渫・空気圧送協会, 日本船舶海洋工学会, 日本鉄鋼協会, 日本伝熱学会, 日本冷凍空調学会, 日本バイオレオロジー学会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本ボイラー協会, 日本フルードパワーシステム学会, 日本流体力学会, 粉体工学会, 日本雪氷学会, 日本雪工学会, 日本液体微粒化学会, 日本洗浄技能開発協会
4. 日 時 平成 1 9 年 6 月 2 3 日 (土)
5. 場 所 札幌コンベンションセンター (〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目)
6. 議事次第
 - I 挨拶 (日本学術会議)
 - II 招待講演
 - (1) 「二相系格子ボルツマン法による混相流シミュレーション
- 最新の応用例と今後の展開 -」

講師：京都大学教授 稲室 隆二 氏

(2)「ナノバブルと超音波を用いたがん治療法の開発」

講師：東北大学助教授 小玉 哲也 氏

Ⅲ パネルディスカッション「混相流は新しい学問の潮流を生むか？」

司会：北海道大学助教授 矢野 猛 氏

パネラー：大阪府立大学教授 高比良 裕之 氏

パネラー：産業技術総合研究所 主任研究員 竹村 文男 氏

パネラー：東京大学助教授 高木 周 氏

パネラー：九州大学助手 真田 俊之 氏

20	
幹事会	34

提 案

第7回 水資源に関するシンポジウムの開催

1. 提案者 土木工学・建築学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議、東京都、水資源に関するシンポジウム委員会
2. 後 援 (財)日本科学技術振興財団、日本放送協会、日本新聞協会
3. 日 時 平成19年8月3日(金)～4日(土)
4. 場 所 東京都大会議場
5. 議事次第

趣 旨：

水資源は、重要かつ基本的な資源として、国民生活や社会経済活動のあらゆる面で利用され、我々の暮らしを豊かなものにしている。「水資源に関するシンポジウム」は、このような水資源について、関係する学会や行政機関等が最新の成果や報告を持ち寄り、水資源に関する理解と認識を深めると同時に、新たな施策の展開に資することを目的として、昭和52年以降、これまでに6回開催されている。

第7回 水資源に関するシンポジウムは、「今後の水問題を考える」をテーマに、近年の気候変動に伴う水資源の安定性の低下、異常渇水や大規模震災における水に関する危機対策、水資源の持つ環境面での機能や役割、あるいは世界の水問題等について、広く一般を対象に開催するものである。

プログラム

- (1) 特別講演
- (2) 基調講演
- (3) 論文発表
- (4) パネルディスカッション

2 1	
幹事会	3 4

提 案

国内会議の後援

- 1 提 案 者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○ 後援する

名 称 等	申 請 者	審議付託先
国際「太陽地球系の気候と天気」シンポジウム —International CAWSES Symposium— ① 主催：京都大学生存圏研究所 ② 会期：平成 19 年 10 月 23 日～27 日 ③ 場所：京都大学百周年時計台記念館	京都大学生存圏研究所教授	第三部

2 2	
幹事会	3 4

提 案

国際会議の後援

1 提 案 者 会 長

2 議 案 国際会議を後援すること。

3 提案理由 下記の国際会議について後援の申請があり、「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第38条に基づき、国際委員会(主催等検討分科会)において審議を行ったところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。
 なお、国際会議の概要は、別紙のとおりである。

記

第18回プラズマ化学国際シンポジウム(ISPC-18)

後援を希望する国際会議の概要

会 議 の 名 称	和文：第18回プラズマ化学国際シンポジウム 英文：The 18th International Symposium on Plasma Chemistry 略称：ISPC-18
開 催 時 期	平成 19 年 8 月 26 日 ～ 8 月 31 日（6 日間）
開 催 場 所	京都府京都市(京都大学)
主 催 団 体	応用物理学会
共 催 団 体	京都大学大学院 工学研究科
母 体 団 体 等	和文：国際純粋・応用化学連合 英文：International Union of Pure and Applied Chemistry
参加予定者数 [参加予定国]	国外 250 人 国内 300 人 計 550 人 [41 ャ国 1 地域]
会 議 内 容	基調講演、招待講演、口頭発表、ポスター発表、 インダストリアルワークショップ
会 議 議 事 録 等	学会開催の概要について事後報告する予定
開催経費の財源 [募 金 団 体]	参 加 費 27,300 千円 助 成 金 400 千円 寄 付 金 200 千円 計 27,900 千円 (窓口となる団体名) なし
申 請 者	応用物理学会 会長 尾浦 憲治郎 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-3 井門九段北ビル 5 階 TEL: 03-3238-1041(代表)
連 絡 責 任 者	第18回プラズマ化学国際シンポジウム国際組織委員会 委員長 橘 邦英 京都大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 ・ 教授 〒615-8510 京都市西京区京都大学桂 TEL: 075-383-2286